

初乗り距離短縮運賃実証実験のイメージについて

実証実験の概要

- 平成28年度において、初乗り距離短縮運賃を試験的に導入し、潜在需要の顕在化等の導入効果を検証するとともに、本格導入に向けた課題を抽出する。
- 具体的には、基本運賃は維持しつつ、基本運賃の初乗距離に満たない運送に対してのみ、柔軟な運賃を設定する(基本運賃の初乗距離以上の運送に対しては、従前通り)。

条 件

- タクシーメーターの仕様上、加算運賃は固定金額しか設定できないため、初乗り距離短縮運賃の加算運賃においても、基本運賃の加算運賃と同額(例:90円)とする。
- 実証実験による初乗り距離短縮運賃についても、タクシーメーターに基づく金額を収受することとする。そのため、当該実証実験の参加にあたっては、事業者によるタクシーメーターの改修が必要になる。

期間について

- 実施期間については、ある程度の期間が必要であるが、運送収入への影響が不明であることを踏まえ、どの程度の期間とすることが適切か。

地域について

- 実施地域は、どのような地域で行うべきか。
- 実施にあたって、現行制度同様に、協議会での意見を要件とすべきか。

規模について

- 実証実験規模については、効果を検証する上では参加事業者数が多いことが望ましいが、実証実験への参加を強制するものではないことを踏まえ、どの程度の参加事業者とすべきか。

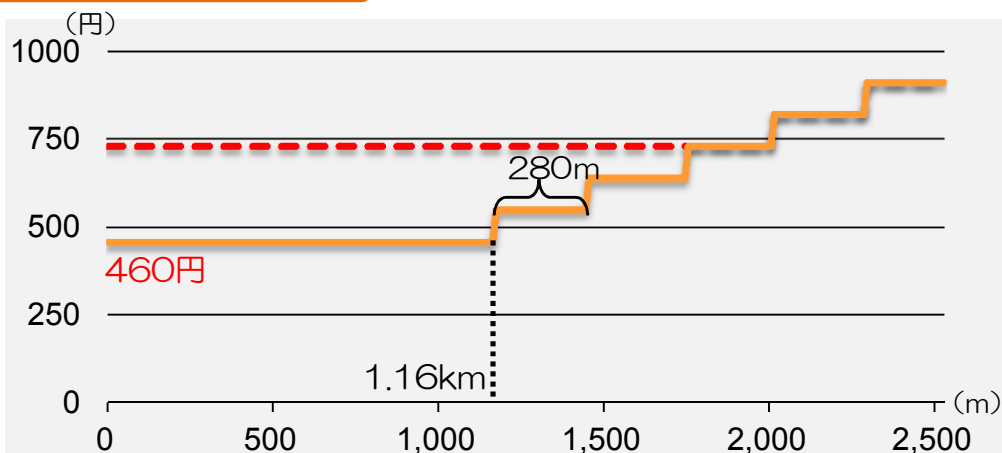
運賃・距離について

- 実証実験にあたって、初乗運賃・初乗距離、加算距離をどのように設定すべきか。

初乗り距離短縮運賃の事例（東京地区の場合）

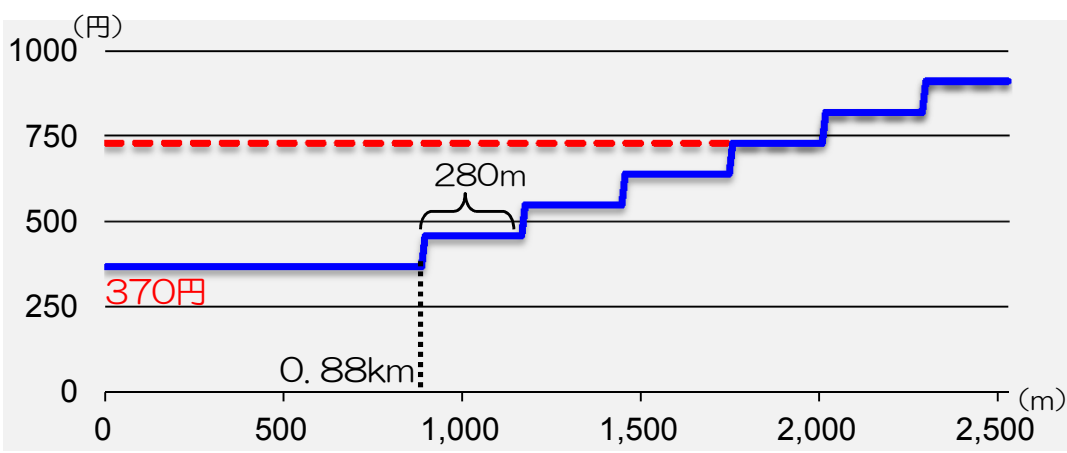
初乗運賃・初乗距離、加算距離の設定について、例えば、東京地区（特別区・武蔵野市・三鷹市）で実証実験を行う場合、以下のような運賃・距離の設定が考えられる。

事例 1



○初乗運賃460円（1.16km）

事例 2



○初乗運賃370円（0.88km）

【参 考】

○ニューヨーク：初乗運賃 約300円（約0.32km）、課税 約60円、チップ 20%

○ロンドン：初乗運賃 約450円（約0.26km）、チップ 10%

初乗り距離短縮運賃の事例（東京地区の場合）

走行距離	事例 1	事例 2	ニューヨーク	ロンドン
	初乗運賃460円(1.16km)	初乗運賃370円(0.88km)	初乗運賃約440円(約0.32km) ※課税、チップ込み	初乗運賃約500円(約0.26km) ※チップ込み
0.2km	460円	370円	約430円	約500円
0.4km	460円	370円	約510円	約570円
0.6km	460円	370円	約510円	約610円
0.8km	460円	370円	約580円	約690円
1.0km	460円	460円	約650円	約740円
1.2km	550円	550円	約650円	約820円
1.4km	550円	550円	約730円	約860円
1.6km	640円	640円	約730円	約940円
1.8km	730円	730円	約800円	約980円
2.0km	730円	730円	約870円	約1,060円

検証方法（案）

- 参加事業者から、実証実験期間及び前年同期間の運送収入や輸送実績（運送回数、実車キロ等）のデータを収集し、初乗り距離短縮運賃の導入に係る影響を検証する。
- トレンドも考慮するため、当該期間前の一定期間のデータも収集する。
- その他、利用者アンケートの実施や、実証実験結果データ（利用者属性、発着地等）をもとに様々な視点から分析等を行う予定。